

【現代社会】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（素案）

検討中

※試行調査の検証・分析の結果及び高等学校学習指導要領の見直しの内容等を踏まえ、更に整理する。

【考察・構想(※注)】 ●社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察することができる ●現代社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想することができる ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断することができる	【説明】 ●考察したことや構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる ・学習課題を振り返って考察した過程や結果を適切にまとめることができる ・結果について吟味したり検証することができる ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりすることができる ○作問にあたっての場面設定の工夫例 ・社会的事象等を多面的・多角的に考察する学習活動を通じて，現代社会の課題について自分の意見を形成しようとする場面	
大学入学 共通テスト において 問いたい 「思考力・ 判断力・ 表現力」	社会的事象等をとらえる「考え方」に基づいて対象を考察し，現代社会の諸課題を把握し，関連性や社会的な意味をとらえることができる	社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を，理由や根拠に基づいてまとめることができる
	概念や理論を活用し，制度や政策の本質，又は日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる	
	概念や理論を活用し，社会的事象等の意味や意義を解釈することができる	
	概念や理論を活用し，社会的事象等の原因と結果の関連性について考察することができる	
	社会的事象等を多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる	
	様々な立場からの主張を，根拠に基づいて多面的・多角的に考察し，課題の解決に向けて，公正に判断することができる	

※注） 構想については，社会科系科目に見られる課題の解決に向けて，広い視野から構想（選択・判断）することを示している。（参考：『平成28年12月21日中央教育審議会答申』より）

○自由記述では，以下のことを問える可能性がある。

- ・社会的事象等を考察するにあたって，自ら課題設定し，適切な資料や方法を用いて考察することができる
- ・社会的事象等を多面的・多角的に考察し，自らが構想した過程や結果を諸資料などの根拠に基づいて論理的・効果的に表現することができる
- ・社会的事象等を多面的・多角的に考察した過程や結果を踏まえ，課題解決に向けて自分の意見を形成して，適切に表現することができる
- ・考察したことや構想したことから，新たな課題を見いだすことができる